

第1回 情報化施工実技講習会を行いました。（平成26年5月15日）

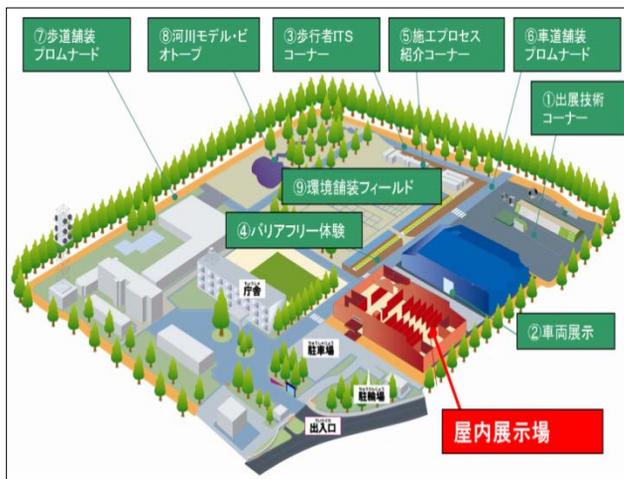
主に国及び自治体の技術者を対象とした情報化施工の実技講習会を建設技術展示館で行いました。

当日は、39名の方々が参加されました。午前中は、主に座学による情報化施工の知識を習得して頂き、午後は、実技と体験を中心としたプログラムで行いました。

- | | | |
|--------|--------------------------------|-------------|
| 1 講習月日 | : 平成26年5月15日（水） | 10:00~16:30 |
| 2 場所 | : 国土交通省関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館 | |
| 3 受講者 | : 国及び自治体職員、公益法人、建設会社 | 計39名 |
| 4 協力団体 | : 西尾レントオール株式会社、福井コンピュータ株式会社 | |



建設技術展示館

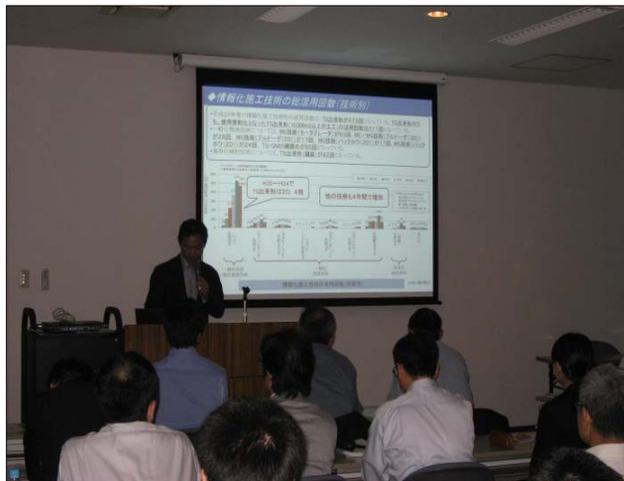


関東技術事務所鳥瞰図

午前中の座学



主催者代表挨拶



情報化施工について

要旨：情報化施工などの新技術は、実際に使い、検証し、しっかりPDCAサイクルを回していくことが重要。

要旨：①情報化施工推進戦略、②情報化施工の必要性と効果、③自治体事業（工事）における情報化施工の効果等。



マシンコントロール・マシンガイダンスについて



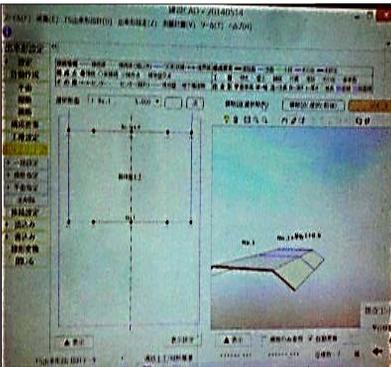
TS (トータルステーション) を用いた出来形管理について

午後の実技・体験

TS(トータルステーション)を使った出来形管理の実技



盛土を模したTS実技会場



TS入力データの説明映像

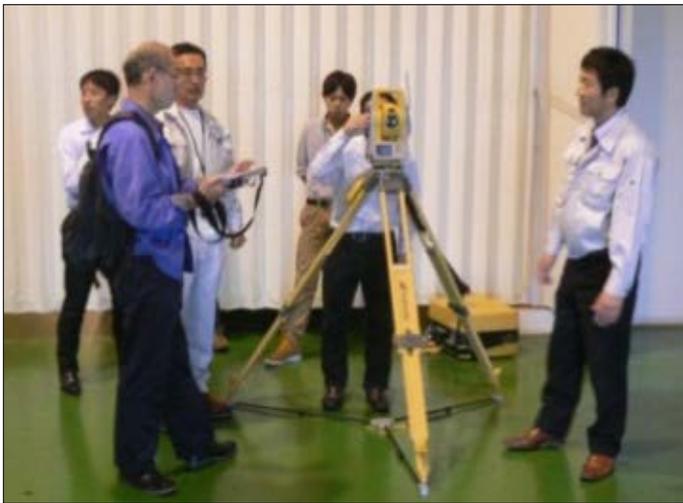
実技会場のTSデータの
入力の方法、測定の
方法を説明



TS入力データの説明



実技



TSの反射プリズムに焦点を合わせ光波測量



反射プリズムの気泡を見ながら水平取り



←反射プリズム

【TSを使った出来形管理の実技についての受講者の感想】

- ・現場での活用性が大きいと感じた。
- ・最近、主流になってきた技術なので、体験できて良かった。
- ・今までなんとなく理解をしていた内容について、具体的な仕組み、作業を体験したことにより、理解を深めることができた。
- ・操作における特色が学べた。

アスファルト密度測定器－PQIの実技



PQIを用いた実技



PQIの操作

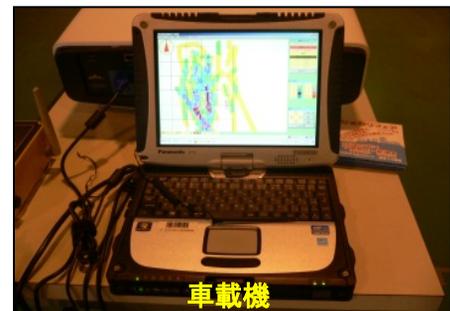


PQI

【アスファルト密度測定器－PQIの実技についての受講者の感想】

- ・これを標準にすれば現場管理が楽になる。また、非破壊なので品質にも良い。
- ・使用はとても簡単で手軽であり良いと思った。あとは、それをどう導入していくか、考える必要がある。
- ・厚さがわかれば、なお良い。

締固め回数管理システムの体験



【締固め回数管理システム体験についての受講者の感想】

- ・素晴らしい技術だが、工法規定方式と同じで自動化しただけ。
- ・ラジコン操作で模型の踏んだところに色がつくことで、締固め回数管理が理解できた。
- ・実際に転圧する技術は、このシステムの導入でもれなく締固め出来るので良いと思った。
- ・品質管理の点から非常に有効。

【全般を通した受講者の感想】

- ・システムは使ってみないと本当の価値が理解できない。机上でシステムを語ってはいけない。
- ・システムをもう少し具体的に説明してもらえるともっと良かった。(なぜ、プリズムを自動追尾できるのかなど)
- ・実体験できる時間がもう少し多くても良かった。(人数上、仕方ないと思いますが・・・)
- ・全般的に知らないことだらけだったため、良い経験ができました。